2023年度

履修の手引き

社会学類生のための履修ガイド

主な内容

・社会学類年間スケジュール – 主専攻決定手続き日程、卒業論文提出期限などの重要情報

・履修上の諸注意 –『後から気づいた』では手遅れの可能性もある履修原則やGPA算出方法など

・オンラインでのシラバス閲覧マニュアル – 興味ある講義を履修するための必須情報

・各主専攻別履修細則・履修ガイド – 主専攻決定基準、主専攻別注意事項、卒業に必要な主専攻別情報、さらに学習方法上の有益情報

注意

・社会学類の開設科目シラバス（講義内容）は教育課程編成支援システム: KdB（ https://kdb.tsukuba.ac.jp ）で閲覧すること（右QRコード）。なお、KdBにはTWINSからもアクセスできる。

シラバス、KdBには社会学類ホームページ（ http://shakai.tsukuba.ac.jp ）からもアクセスできる（右QRコード）。

・本冊子は履修ガイドであり、ルールブックではない。各自、『履修要覧』『開設授業科目一覧』を熟読すること。

目　　次

第1部　社会学類生の年間スケジュール

社会学類学生の年間予定表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第２部　履修上の諸注意事項・科目番号一覧

履修上の諸注意事項・ＧＰＡの算出方法・・・・・・・・・・・・・・ 4

履修科目の登録の上限・学群学生の大学院授業科目履修・・・・・・・ 5

早期卒業・履修の原則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

社会学類の特色・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

科目番号一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

第３部　社会学類『開設授業科目一覧』
および『シラバス』のKdB閲覧マニュアル

KdBの使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第4部　各主専攻別履修ガイド：
『履修細則（別表）』および『履修ガイド』

履修の原則・履修細則の変更点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

社会学主専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

法学主専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

政治学主専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

経済学主専攻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

第1部　社会学類生の年間スケジュール

主専攻決定、卒論関連予定表

学　年	事　項	提出期間	対象学生
２年次 （含秋学期入学者）	主専攻希望届提出	秋ＡＢＣモジュール期末試験期間中	
３年次 （含秋学期入学者）	卒業論文仮題目届提出	１２月第３週	社会学主専攻の学生のみ
４年次	卒業論文題目届提出	５月最終１週間	主専攻にかかわらず、卒業論文提出者全員
	卒業論文中間発表	１０月下旬 （予定）	社会学主専攻の学生のみ
		１１月中旬 （予定）	法学主専攻の学生のうち「卒業論文」履修者のみ
	卒業論文題目変更届提出	１１月上旬	主専攻にかかわらず、変更・追加のある学生のみ
	卒業論文提出	１月第４月曜日から水曜日	主専攻にかかわらず、卒業論文提出者全員

【注意事項】

- 提出先　　卒業論文：　人文社会エリア支援室学群教務担当の窓口
  　　そのほかの書類：　人文社会エリア支援室のレポート提出ボックス
- 用紙　卒論以外の提出物はすべて所定の用紙を使用（支援室の資料配布ボックスで配布）
- 締め切りの厳守について　**受付期間・締切時間に遅れたものは、一切受け付けない。**
  （止むを得ない事情がある場合には、必ず事前に連絡すること。）

- 主専攻決定について：　決定された主専攻は原則として変更を認めない。
- 春学期卒業予定者（秋学期入学者を含む）、 ASIP等のプログラムを利用しての卒業を志望している者は、指導教員・クラス担任に早めに相談すること。

第２部　履修上の諸注意事項・科目番号一覧

興味ある講義を効果的に履修しながら、卒業単位を修得するには、シラバスや開設授業科目一覧の活用が必須である。

- KdB（筑波大学 教育課程編成システム）を使い、オンラインで『開設授業科目一覧』及び各科目の『シラバス（授業概要）』を閲覧することができる。KdB閲覧方法は、本冊子「**第3部 KdBによる社会学類開設『開設授業科目一覧』『シラバス』閲覧マニュアル**」でも確認できる（『開設授業科目一覧』は冊子体でも発行されている）。

- 後日申請の科目はKdBに掲載できていない場合がある。随時掲示する。注意すること。
- 非常勤講師の担当科目のうち、4月の段階でKdBに掲載できていない場合がある。掲示等に注意すること。
- 他学類開設の共通科目のシラバスには、KdBに掲載されていない場合もある。必要に応じて開設学類の冊子体シラバス等を適宜参照すること。

卒業要件に算入できるオンライン科目の単位数

授業形態がオンラインの科目については、卒業要件に算入できる単位数の上限が60単位までと大学設置基準により定められている。
ただし、令和4年度までに修得したオンライン授業科目の単位数は、緊急時の特例措置として、この60単位上限に含まれない。令和5年度以降にオンライン授業により修得した単位数は、この60単位上限に含まれる。
よって特に1年次（令和5年度入学）生は、この上限に注意して履修計画を立てること。2年次以上生であっても、オンライン科目に過度に偏った履修計画を立てないように注意すること。

以上を含め、本学の新型コロナウィルス感染症への対応（学生へのお知らせ）が、本学ホームページ　https://www.tsukuba.ac.jp/about/antidisaster-crisismanagement/covid-19/

に掲載されている。確認すること。（右はこのURLのQRコード）

ＧＰＡの算出方法 (平成28.4.1改正)

$$\text{ＧＰＡ} = \frac{(\text{A}^{+}\text{の単位数} \times 4.3 + \text{Aの単位数} \times 4 + \text{Bの単位数} \times 3 + \text{Cの単位数} \times 2 + \text{Dの単位数} \times 0)}{\text{履修登録単位の合計（※）}}$$

※ 対象となる科目は、卒業要件に関わる授業科目のうち、次の科目を除いたもの
・本学で修得した単位と認定された授業科目（編入学者の場合など）
・成績が「Ｐ」または「Ｆ」で評価される授業科目
・学類長からの要請を踏まえ学群長が指定する授業科目

履修科目の登録の上限

卒業に必要な修得単位数は126単位である。
学生が１年間に履修科目として登録することができる単位数は、４５単位までである（学群学則第３３条参照）。ただし、

1．以下の科目は年間履修登録の上限から除外する。
・**当該年度の途中で開講が決定された社会学類開設の専門科目**（開講決定の掲示において上限の対象外であることが明記された科目に限る）。
（注意）これに該当しない当該年度の開始時に開講が決定されている科目は、本学HPの**開設科目一覧**に記載されている。

https://www.tsukuba.ac.jp/education/ug-courses-openclass/
右はQRコード

・教職に関する科目（「教科に関する科目」は除外されないので注意すること）。

２．下記①または②に該当する学生は、所定の手続きを経て、４５単位の上限に１０単位まで加え、１年間に合計５５単位まで履修登録することができる。

① 前年度の年間ＧＰＡが３.６以上である者で、クラス担任の許可を得た者。

② クラス担任が特別な事情があると認めた者。
（「特別な事情」には、「編入学」「留学準備」（ただし留学先大学が決定している場合に限る）等が該当する）

原則として上記①を満たす前年度成績の優秀な学生が申請すべきものである。

学群学生の大学院授業科目履修

所属する学群において成績優秀と認められ、かつ、本学の大学院に進学（入学）を希望する者については、所定の手続を経て、原則として学群・学類４年次において、大学院の授業科目を履修することができる。
なお、本制度は、学群学生への履修指導の一環として実施するものであるが、大学院の研究群・学位プログラム等によっては、事情により、本制度を導入しない場合もある。
申請に当たっては、クラス担任等の指導の下に申請すること。

１．申請資格
（1）第３年次終了時点（秋学期入学者は第３年次３月終了時点）で、学生が所属する学群・学類において成績優秀と認める者。
（2）本学の大学院に進学を希望する者。

２．履修単位の取扱い
履修した単位については、本学の大学院入学後、既修得単位として認定される。
（本学の大学院に進学（入学）した場合に限って単位が授与される。）

３．履修に当たっての学費
本制度による大学院授業科目の履修に当たっては、別途授業料は必要ない。
ただし、授業の教材費等については、本人負担となる。

早期卒業

筑波大学に３年以上在学した学生で、卒業要件を満たす単位を優秀な成績で修得した学生であって、かつ当該学生が希望する場合には、学類教育会議及び学群運営委員会の議を経て、学長が卒業を認定することができる（筑波大学『履修要覧』学群学則４０条参照）。

（これを希望する者は、履修計画や卒業論文等について、クラス担任及び各主専攻の担当教員と十分に相談すること。）

1. ３年次末卒業を希望する者（秋学期入学者を含む）は、２年次までの修得単位数と３年次の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ申請時までの累積ＧＰＡが４．０以上である者。

2. ４年次春学期末卒業を希望する者（秋学期入学者を除く）は、３年次までの修得単位数と４年次春学期の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの累積ＧＰＡが４．０以上である者。

3. 秋学期入学の学生で、４年次秋学期末卒業を希望する者は、３年次までの修得単位数と４年次秋学期の申請予定単位数の合計が卒業要件を満たし、かつ、申請時までの累積ＧＰＡが３．８以上である者。

履修の原則

・履修は、各自の入学時に配布された（当該年度の）『**履修要覧**』に従うこと。

諸君のルールブックである入学時の『履修要覧』を紛失しないよう注意すること。

・『**履修要覧**』に『**社会・国際学群「履修細則」**』およびその**「別表」**があり、さらに「別表」には（**注**）がある。履修にあたっては、これらすべてに厳格に従わなければならない。

・『履修要覧』は変更される場合がある。掲示等には十分な注意を払うこと。

社会学類の特色（専門基礎科目）

後述の各主専攻の『履修細則』の「別表」を見ながら、以下を読むとイメージしやすい。

各分野（社会学・法学・政治学・経済学）の基礎的素養を身につけた上で、各専門分野を履修する。

こうして学生諸君は、我々の社会が直面している様々な問題を発見・分析することができる。このように多面的にアプローチすることで、より良い解決策の立案能力を獲得できるようになる。

したがって**社会学類の各主専攻に進む場合、その主専攻以外の専門基礎科目も履修するようにカリキュラムは編成されている。**

3年次以降、各自の好奇心にしたがって専門分野（社会学・法学・政治学・経済学）に進み知識を深めていくためにも、

専門基礎科目の履修は極めて重要であり、積極的な学習が望まれる。

科目番号一覧

後に詳述される『履修細則』の『別表』を正確に把握するためにも不可欠な情報でもある。『別表』は卒業に必要な事項を説明しており、重要である。

科目番号							科目番号の意味	
1	2	3	4	5	6	7	学群（一桁目）	学類（二桁目）
A	A						人文・文化学群	学群共通
	B							人文学類
	C							比較文化学類
	E							日本語・日本文化学類
B	A						社会・国際学群	学群共通
	B	1						社会学類（社会学主専攻）
	B	2						社会学類（法学主専攻）
	B	3						社会学類（政治学主専攻）
	B	4						社会学類（経済学主専攻）
	B	0						社会学類（その他、専門導入科目など）
	C							国際総合学類
	E							社会国際学教育プログラム
C	A						人間学群	学群共通
	B							教育学類
	C							心理学類
	E							障害科学類
E	A						生命環境学群	学群共通
	B							生物学類
	C							生物資源学類
	E							地球学類
F	A						理工学群	学群共通
	B							数学類
	C							物理学類
	E							化学類
	F							応用理工学類
	G							工学システム学類
	H							社会工学類
G	A						情報学群	学群共通
	B							情報科学類
	C							情報メディア創生学類
	E							知識情報・図書館学類
H	A						医学群	学群共通
	B							医学類
	C							看護学類
	E							医療科学類
W	A						体育専門学群	
Y							芸術専門学群	
8							自由科目（特設）	
9	9						博物学に関する科目	

第３部　社会学類『開設授業科目一覧』および『シラバス』のKdB閲覧マニュアル

KdBとは、筑波大学教育課程編成支援システムの呼称である。筑波大学の開設授業科目を管理している。教員がこのシステムに科目登録をすると、学生はその科目を履修することができる。学生諸君は、このKdBにより科目検索をして『開設授業科目一覧』や『シラバス』を参照することができる。

KdBの使い方

まず、ウェブブラウザ*を使い、KdBにアクセス（TWINSからアクセスすることもできる）。

https://kdb.tsukuba.ac.jp/

左記URLのQRコード。

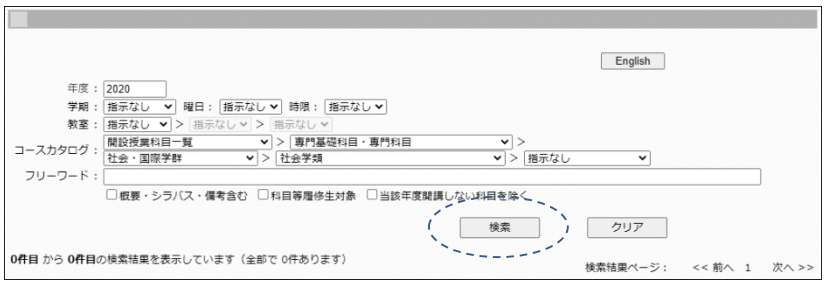
*ブラウザはMozilla Firefox やGoogle Chrome等を使って下さい。Internet Explorerでは上手く動作しない場合がある。

Kdbのトップ画面。

1）画面左上の**年度欄**が閲覧したい年度であるか確認する。異なる年度の場合は修正（入力）する。

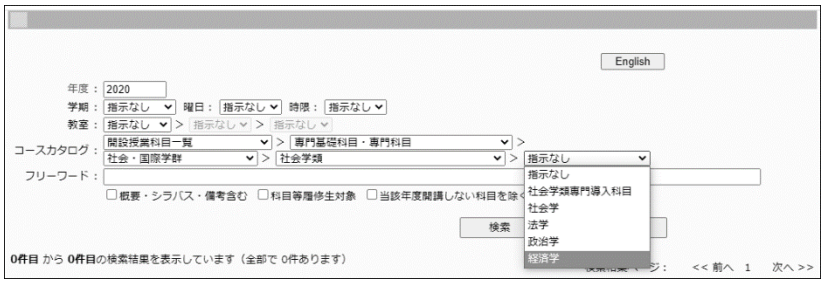
2）**コースカタログ欄**の一つ目のプルダウンメニューをクリックし、「開設授業科目一覧」を選択する。

3）同様にプルダウンメニューで、開設授業科目一覧> 専門基礎科目・専門科目> 社会・国際学群> 社会学類と選択する。



4）社会学類開設の全科目を閲覧する場合は、この状態で**検索**ボタンをクリックする。

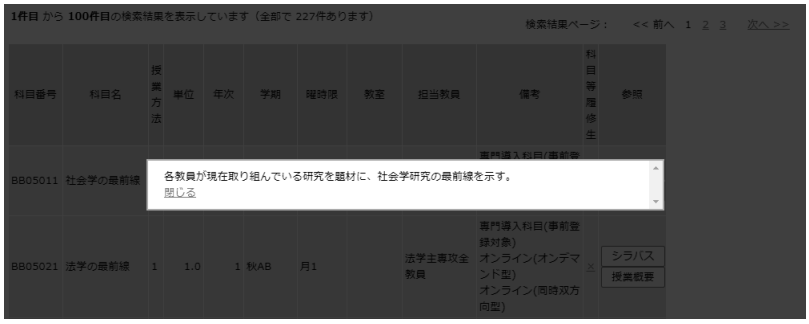
5）社会学類の専門導入科目、または特定の主専攻の科目のみ閲覧する場合は、さらにプルダウンメニューで選択してから**検索**ボタンをクリックする。



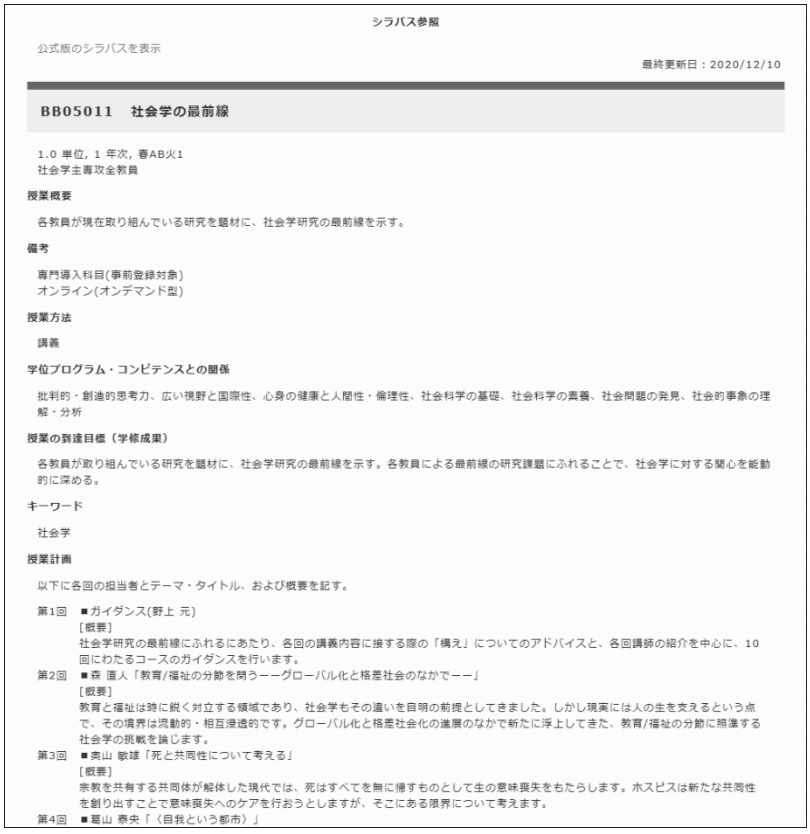
6）科目一覧が表示される。（下図は社会学類の全科目を検索した場合）

科目番号	科目名	授業方法	単位	年次	学期	曜時限	教室	担当教員	備考	科目等履修生	参照
BB05011	社会学の最前線	1	1.0	1	春AB	火1	1H201	社会学主専攻全教員	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型)	×	シラバス 授業概要
BB05021	法学の最前線	1	1.0	1	秋AB	月1		法学主専攻全教員	専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)	×	シラバス 授業概要
BB05031	政治学の最前線	1	1.0	1	秋C	集中		竹中 佳彦,鈴木 創,南山 淳,明石 純一	1/6, 7 専門導入科目(事前登録対象) オンライン(オンデマンド型) 受講方法はmanabaで指示する。	×	シラバス 授業概要
BB05041	経済学の最前線	1	1.0	1・2	春AB	月2	1H201	経済学主専攻全教員	専門導入科目(事前登録対象)	×	シラバス 授業概要
BB11011	社会学基礎論	1	2.0	1・2	秋C	月・金3,4		奥山 敏雄	主専攻必修科目 オンライン(オンデマンド型) 原則として、社会国際学群所属の1・2年次および教職課程選		シラバス 授業概要

7）科目一覧の右端の**授業概要**ボタンをクリックすると授業概要が、**シラバス**ボタンをクリックするとシラバスが表示される。



例：「社会学の最前線」の授業概要



シラバス参照

公式版のシラバスを表示

最終更新日：2020/12/10

BB05011　社会学の最前線

1.0 単位, 1 年次, 春AB火1
社会学主専攻全教員

授業概要

各教員が現在取り組んでいる研究を題材に、社会学研究の最前線を示す。

備考

専門導入科目(事前登録対象)
オンライン(オンデマンド型)

授業方法

講義

学位プログラム・コンピテンスとの関係

批判的・創造的思考力、広い視野と国際性、心身の健康と人間性・倫理性、社会科学の基礎、社会科学の素養、社会問題の発見、社会的事象の理解・分析

授業の到達目標（学修成果）

各教員が取り組んでいる研究を題材に、社会学研究の最前線を示す。各教員による最前線の研究課題にふれることで、社会学に対する関心を能動的に深める。

キーワード

社会学

授業計画

以下に各回の担当者とテーマ・タイトル、および概要を記す。

第1回　■ガイダンス(野上 元)
[概要]
社会学研究の最前線にふれるにあたり、各回の講義内容に接する際の「構え」についてのアドバイスと、各回講師の紹介を中心に、10回にわたるコースのガイダンスを行います。

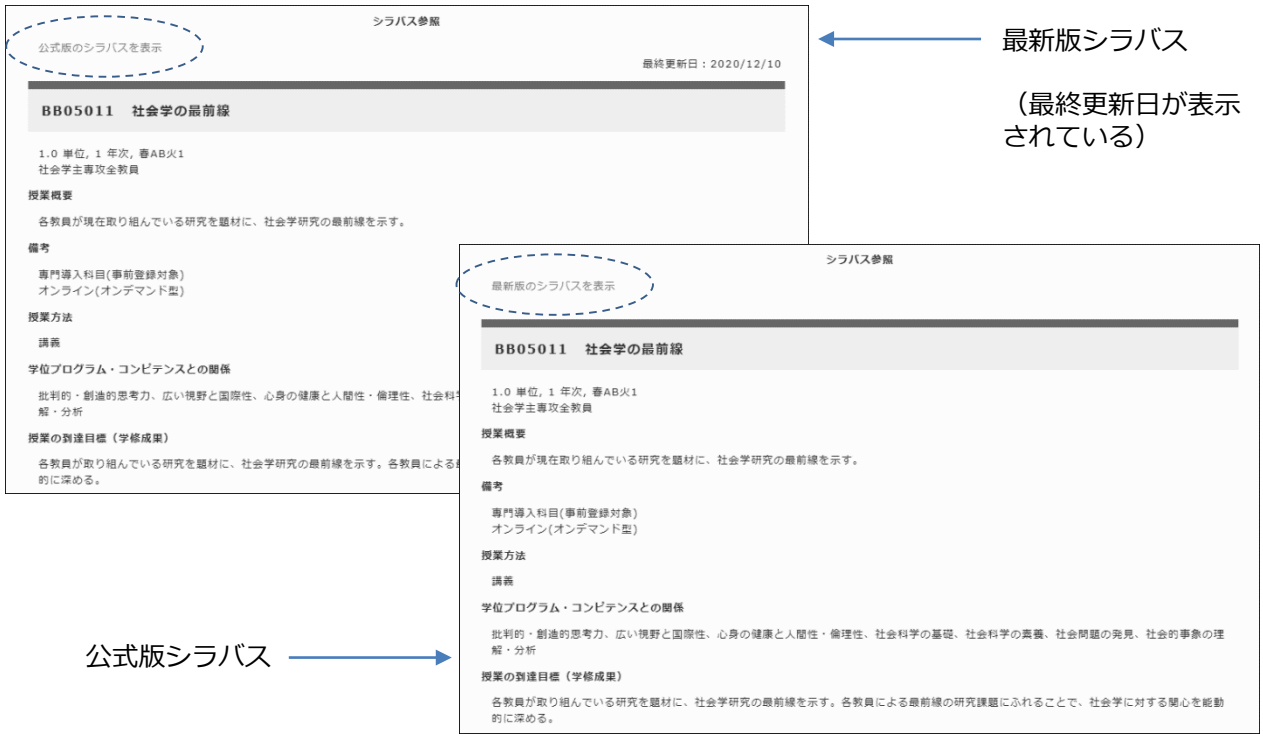
第2回　■森 直人「教育/福祉の分節を問う――グローバル化と格差社会のなかで――」
[概要]
教育と福祉は時に鋭く対立する領域であり、社会学もその違いを自明の前提としてきました。しかし現実には人の生を支えるという点で、その境界は流動的・相互浸透的です。グローバル化と格差社会化の進展のなかで新たに浮上してきた、教育/福祉の分節に照準する社会学の挑戦を論じます。

第3回　■奥山 敏雄「死と共同性について考える」
[概要]
宗教を共有する共同体が解体した現代では、死はすべてを無に帰すものとして生の意味喪失をもたらします。ホスピスは新たな共同性を創り出すことで意味喪失へのケアを行おうとしますが、そこにある限界について考えます。

第4回　■葛山 泰央「〈自我という都市〉」

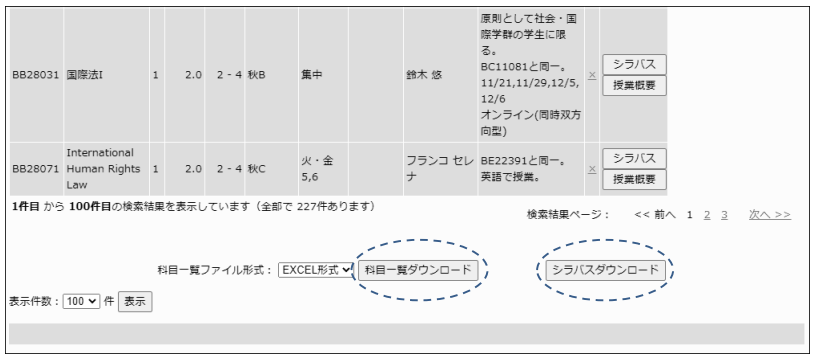
例：「社会学の最前線」のシラバス

８）KdBには２種類のシラバスが登録されている。ひとつは年度開始時の**「公式版」シラバス**である。教員によっては、その後シラバスを更新している場合があり、**「最新版」シラバス**が登録される。画面右上に「最終更新日」が表示されているのが「最新版」シラバスである。2023年2月現在、最初に表示されるのは「最新版」シラバスである。



９）「公式版」シラバスと「最新版」シラバスの表示を切り替えるには、画面左上の**公式版のシラバスを表示**または**最新版のシラバスを表示**をクリックする。

１０）科目一覧の検索結果の画面から、科目一覧（EXCEL形式かCSV形式を選択）とシラバス（PDF形式）を一括ダウンロードすることができる。画面最下部の**科目一覧ダウンロード**ボタンまたは**シラバスダウンロード**ボタンをクリックする。



シラバスには、各科目に関する詳細な情報が記載されている。履修する科目を選択する際にはまずシラバスを参照すること。

第４部　　各主専攻別　履修ガイド
『履修細則（別表）』および『履修ガイド』

主専攻別の履修ガイドに入る前に、再度、履修の原則と主専攻間共通の注意を記載する。

履修の原則と注意

・履修は、各自の入学時に配布された『**履修要覧**』に従うこと。

・**『履修要覧』に「社会・国際学群『履修細則』」**および、**主専攻別の『別表』**がある。「別表」には次ページのような（**注**）がある。履修はこれらに厳格に従うこと。

・『履修要覧』は変更される場合がある。

・**筑波大学では掲示をもって公告としている。掲示等には十分な注意を払うこと**。

・平成31年度（2019年度）入学生より『履修要覧』が大幅に変更されている。注意すること。

入学年度別の履修細則変更点

１．入学年度にかかわらず早期卒業の要件を本冊子６ページ「早期卒業について」に記載の通り修正する。

２．平成31年度入学生用の『履修細則』「別表」とその（注）は、前年度までとは大幅に変更されている。注意すること。

３．令和5年度入学生から、経済学主専攻の『履修細則』「別表」が、前年度までとは変更されている。注意すること。

平成31年度入学生用の履修細則・別表の（**注**）

1. この表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目とすることはできない。
3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は、授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「情報」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているもののうちから履修する。

平成28・29・30年度入学生用の履修細則・別表の（**注**）

1. 別表に掲げる単位数は、卒業に必要な最少の数値を表す。
2. 同一の授業科目を重複して、他の科目欄の授業科目とすること又は同一の科目欄の他の授業科目 とすることはできない。
3. 各科目欄に掲げる記号及び番号は、授業科目番号で、当該記号及び番号で始まる授業科目のグループを表す。
4. 「総合科目」、「体育」、「外国語」、「情報」、「国語」及び「芸術」は、それぞれ当該授業科目として開設しているもののうちから履修する。
5. 編入学又は転入学を許可された者及び入学前又は入学後に他大学等において授業科目を履修し、又は学修を行った者で、他大学等において「第１外国語」又は「第２外国語」に相当する科目を履修したものに係る当該授業科目の卒業に必要な修得単位数は、この表の規定にかかわらず、次のとおりとする。

   第１外国語　４単位　　第２外国語　４単位
6. 総合科目Ⅱについては、科目群Ａ及び科目群Ｂのそれぞれから２単位を含む合計5単位を必修とする。
7. BEのうち別途指定する科目については、学類シラバス及び掲示で公表する。

社会学主専攻

社会学主専攻について

１．授業科目の履修は、主専攻分野の決定に必要な条件（下表）および卒業に必要な条件（入学年次別履修細則（別表））を念頭に置きながら、各自の関心にそって自主的かつ計画的に行うことが必要である。また、志望する主専攻分野が未定の学生は、将来の自分の選択肢を狭めることのないよう各主専攻の条件を考慮しながら、独自に履修計画を立てる必要がある。

２．主専攻分野の決定に必要な条件（履修科目及び単位数）は、次のとおり。

主専攻分野の決定に必要な条件
単位数の総計が３０単位に達していること。 【専門科目及び専門基礎科目の１２単位を含む。 ただし社会学基礎論及び現代社会論は必ず履修すること。】

３．卒業に必要な条件（履修科目及び単位数）は、次ページ以降の「入学年次別履修細則(別表) 」および入学時に配布された『履修要覧』を参照すること。卒業要件は入学年次によって異なるので注意すること。

４．同一の学期・曜日・時限に開設される科目を２科目以上履修することはできない。

５．名称が全く同一の科目は重複して履修できない。また、旧科目名が開設授業科目一覧の備考欄で示されている科目とその旧科目とは、重複して履修できない。

６．他学類･他主専攻開設の授業科目と共通する授業科目（開設授業科目一覧の備考欄に表示）は、必ず社会学類･社会学主専攻の授業科目番号（例えばＢＢ１）のほうで履修申請を行うこと。

社会学主専攻　入学年度別　履修細則（別表）

2023年度入学者

別表第１　（第３条関係）
（社会学類）

主専攻分野	専門科目 必修科目	単位数	専門科目 選択科目	単位数	専門科目 自由科目	単位数	専門基礎科目 必修科目	単位数	専門基礎科目 選択科目	単位数	専門基礎科目 自由科目	単位数	基礎科目 共通科目 必修科目	単位数	共通科目 選択科目	単位数	共通科目 自由科目	単位数	関連科目 必修科目	単位数	関連科目 選択科目	単位数	関連科目 自由科目	単位数	計 必修科目	計 選択科目	計 自由科目	合計
社会学	卒業論文	6	ＢＢ1	30〜56			社会学基礎論	4	法学概論	6〜12			総合科目（ファーストイヤーセミナー、学問への誘い）	2	総合科目（学士基盤科目）	1〜3					教職に関する科目	0〜8			32	94	0	126
	卒業論文演習	4	社会調査実習、社会学演習から12単位修得すること。（必ず社会学演習を6単位以上含めること）				現代社会論		民事法概論												Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９	10〜20						
	社会学研究法	2							政治学概論																			
			ＢＢ2	19〜44					国際政治史												Ｅ、Ｆ、Ｇ	2〜10						
			ＢＢ3						経済学基礎論				体育	2	体育	0〜2					ＢＡ（専門基礎科目として指定されている科目を除く）	0〜12						
			ＢＢ4						現代経済史				第1外国語	4	外国語	0〜6					ＢＥ							
			（専門基礎科目として指定されている科目を除く）						社会学の最前線	2〜4			第2外国語	4	国語	0〜2												
									法学の最前線				情報	4	芸術	0〜2												
									政治学の最前線																			
									経済学の最前線																			
									社会学の最前線チュートリアル	0〜4																		
									法学の最前線チュートリアル																			
									政治学の最前線チュートリアル																			
									経済学の最前線チュートリアル																			
	単位合計	12		49〜74				4		8〜20				16		1〜15				0		12〜36			32	94	0	126

2022年度入学者

主専攻分野	専門科目 必修科目	単位数	専門科目 選択科目	単位数	専門科目 自由科目	単位数	専門基礎科目 必修科目	単位数	専門基礎科目 選択科目	単位数	専門基礎科目 自由科目	単位数	基礎科目 共通科目 必修科目	単位数	共通科目 選択科目	単位数	共通科目 自由科目	単位数	関連科目 必修科目	単位数	関連科目 選択科目	単位数	関連科目 自由科目	単位数	計 必修科目	計 選択科目	計 自由科目	合計
社会学	卒業論文	6	ＢＢ1	30〜56			社会学基礎論	4	法学概論	6〜12			総合科目（ファーストイヤーセミナー、学問への誘い）	2	総合科目（学士基盤科目）	1〜3					教職に関する科目	0〜8			32	94	0	126
	卒業論文演習	4	社会調査実習、社会学演習から12単位修得すること。（必ず社会学演習を6単位以上含めること）				現代社会論		民事法概論												Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９	10〜20						
	社会学研究法	2							政治学概論																			
			ＢＢ2	19〜44					国際政治史												Ｅ、Ｆ、Ｇ	2〜10						
			ＢＢ3						経済学基礎論				体育	2	体育	0〜2					ＢＡ（専門基礎科目として指定されている科目を除く）	0〜12						
			ＢＢ4						現代経済史				第1外国語	4	外国語	0〜6					ＢＥ							
			（専門基礎科目として指定されている科目を除く）						社会学の最前線	2〜4			第2外国語	4	国語	0〜2												
									法学の最前線				情報	4	芸術	0〜2												
									政治学の最前線																			
									経済学の最前線																			
									社会学の最前線チュートリアル	0〜4																		
									法学の最前線チュートリアル																			
									政治学の最前線チュートリアル																			
									経済学の最前線チュートリアル																			
	単位合計	12		49〜74				4		8〜20				16		1〜15				0		12〜36			32	94	0	126

2021年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	計
社会学	卒業論文	6	ＢＢ1	30〜56			社会学基礎論	4	法学概論	6〜12			総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）	2	総合科目（学士基盤科目）	1〜3					教職に関する科目	0〜8			32	94	0	126
	卒業論文演習	4	社会調査実習、社会学演習から12単位修得すること。（必ず社会学演習を6単位以上含めること）				現代社会論		民事法概論												Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９	10〜20						
	社会学研究法	2							政治学概論																			
									国際政治史												Ｅ、Ｆ、Ｇ	2〜10						
									経済学基礎論				体育	2	体育	0〜2					ＢＡ	0〜12						
			ＢＢ2	19〜44					現代経済史				第1外国語	4	外国語	0〜6					ＢＥ							
			ＢＢ3						社会学の最前線	2〜4			第2外国語	4	国語	0〜2												
			ＢＢ4						法学の最前線				情報	4	芸術	0〜2												
			（専門基礎科目として指定されている科目を除く）						政治学の最前線																			
									経済学の最前線																			
	単位合計	12		49〜74				4		8〜16				16		1〜15				0		12〜36			32	94	0	126

2020年度入学者

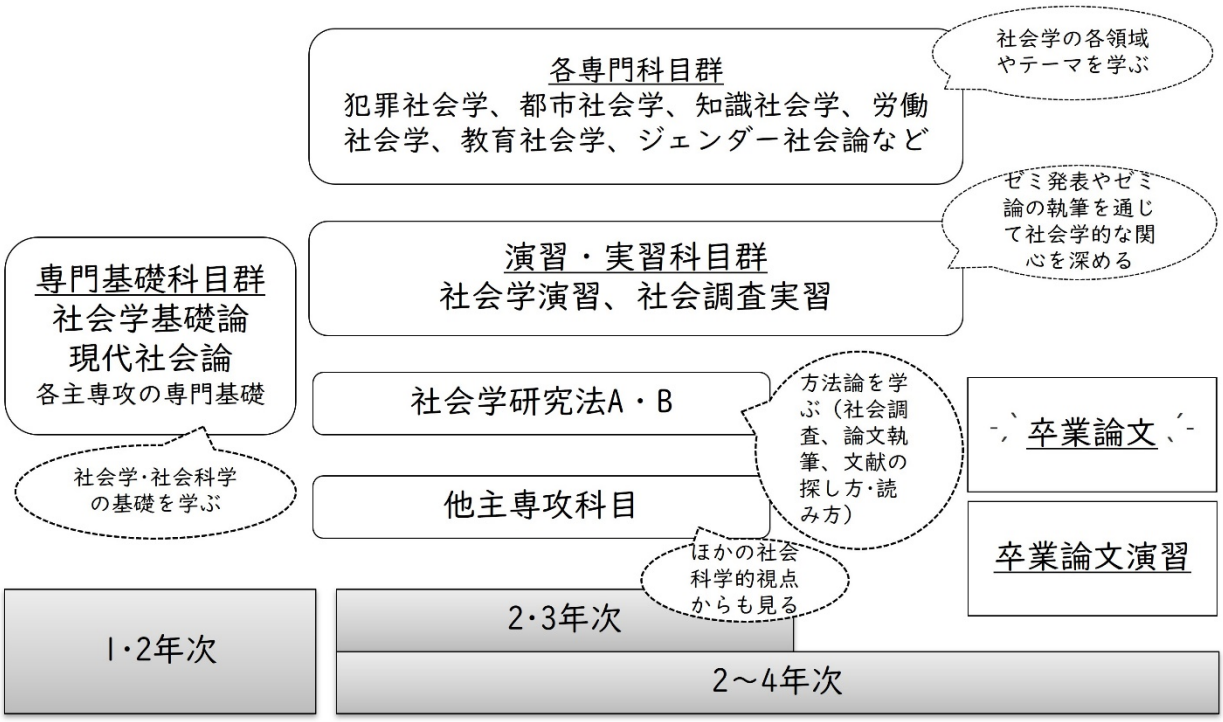
主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	計
社会学	卒業論文	6	ＢＢ1	30〜56			社会学基礎論	4	法学概論	6〜12			総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）	2	総合科目（**学士基盤科目**）	1〜3					教職に関する科目	0〜8			32	94	0	126
	卒業論文演習	4	社会調査実習、社会学演習から12単位修得すること。（必ず社会学演習を6単位以上含めること）				現代社会論		民事法概論												Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８ **（8050111を除く）**、９９	10〜20						
	社会学研究法	2							政治学概論																			
									国際政治史												Ｅ、Ｆ、Ｇ	2〜10						
			8050111						経済学基礎論				体育	2	体育	0〜2					ＢＡ	0〜12						
			ＢＢ2	**19**〜44					現代経済史				第1外国語	4	外国語	0〜6					ＢＥ							
			ＢＢ3						社会学の最前線	**2**〜4			第2外国語	4	国語	0〜2												
			ＢＢ4						法学の最前線				情報	4	芸術	0〜2												
			（専門基礎科目として指定されている科目を除く）						政治学の最前線																			
									経済学の最前線																			
	単位合計	12		**49**〜74				4		**8**〜16				16		1〜15				0		12〜36			32	94	0	126

2019年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	計
社会学	卒業論文	6	ＢＢ1	30〜56			社会学基礎論	4	法学概論	6〜12			総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）	2	総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘いを除く）	1〜3					教職に関する科目	0〜8			32	94	0	126
	卒業論文演習	4	社会調査実習、社会学演習から				現代社会論		民事法概論												A、ＢＣ、C、H、W、	10〜20						
	社会学研究法	2	（必ず社会学演習を6単位以上含						政治学概論												E、F、G	2〜10						
									国際政治史												ＢＡ	0〜12						
			ＢＢ2	18〜44					経済学基礎論				体育	2	体育	0〜2					ＢＥ							
			ＢＢ3						現代経済史				第1外国語	4	外国語	0〜6												
			ＢＢ4						社会学の最前線	3〜4			第2外国語	4	国語	0〜2												
			（専門基礎科目として指定されている科目を除						法学の最前線				情報	4	芸術	0〜2												
									政治学の最前線																			
									経済学の最前線																			
	単位合計	12		48〜74				4		9〜16				16		1〜15				0		12〜36			32	94	0	126

社会学主専攻の科目体系

- 下記のカリキュラムをこなし、4年次に4万字以上の「卒業論文」の執筆をめざします。



- 社会学主専攻の教育目標は、【 卒業論文の完成 】にある。上図の通り、本主専攻の科目の多くは、それに向けて配置されている。

- 卒業論文とは、自分で問題をたて、先行研究を検討し、分析視角・分析手法を決めて、調査・データ収集を行い、分析・考察を経て、自ら一定の答えを用意することである。

- 卒論では、高校までの授業のように「問題は先生が作り、それを学生が解答する」のではなく、「問い」も自らたてる必要がある。各自の自主性を重んじるという点から、テーマの選択は、学生の自主性に任せている。仮題目届の提出時までにテーマ選択や執筆プランをよく考え、指導を希望する教員とよく相談すること。（仮題目届提出の一ヶ月前くらいから連絡し始めること）

- また、卒業論文演習の履修において求められることとして、秋に行われる「卒業論文中間報告会」での発表がある。社会学主専攻への進学を考えている1・2年次学生、仮題目届提出を控えた3年次学生は、卒論中間報告会に参加し、参考にするとよい。（日程や場所については別途掲示する）

法学主専攻

法学主専攻について

1. 法律の科目を学ぶ場合には、時間割の空いている時間を埋めることのみを優先せず、「入学年度別履修細則」の次にある「法学主専攻履修ガイド」を参考に、授業担当の先生に相談する等して、充実した、内容のある効率的な履修計画を心がけて欲しい。

2. 履修計画を立てる際には、主専攻分野決定および卒業に必要な履修科目と単位数を考えて行うこと。

3. 主専攻分野の決定に必要な条件（履修科目および単位数）は、次の通り。

<<法学主専攻分野の決定に必要な条件>>

●単位数の総計が30単位に達していること。
【専門科目の4～6単位〔憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、民法総則、刑法総論の中から選択〕及び専門基礎科目（法学概論、民事法概論を含む。）の8単位を含む。】

4. 卒業に必要な履修科目および単位数等の条件は、入学時に配布された「履修要覧」に記載されているので参照のこと。合計の単位数だけでなく、専門科目・専門基礎科目・基礎科目等の区分ごとに必要な単位数を満たす必要があること、卒業に必要な単位としてカウントされる単位数の上限が区分ごとに決まっていることに十分注意を払うこと。

5. 演習（ゼミナール）履修上の注意
（1）同時に複数の演習を履修する場合は、各担当教員の許可を得ること。
（2）卒業に必要な「BB2の演習科目」の単位数（平成25年度以降入学者は4単位、平成31年度入学者は6単位）を超えて取得したBB2の演習科目の単位については、専門科目－選択科目の“BB2科目”（平成24年度以前の履修要覧ではBB21科目）の単位として扱われる。ただし、演習科目に限らず、1つの科目の単位数を分割することはできないので注意すること。
※例：平成31年度入学者が、〇〇演習（2単位）、◇◇演習（2単位）、□□演習（4単位）の単位を取得した場合、〇〇演習と□□演習の合計単位数を「BB2の演習科目」の6単位、◇◇演習の2単位を「専門科目－選択科目の“BB2科目”」の2単位として読むことは可能だが、□□演習の4単位を2単位・2単位に分割して、その片方を〇〇演習と◇◇演習の合計単位数（4単位）と合算して「BB2の演習科目」の6単位とすることはできない。

6. その他
※社会学類開設の授業科目のなかで、他の学類開設の授業科目と共通の授業科目となっていることが開設授業科目一覧の備考欄に示されている科目は、必ず社会学類の科目番号（例えばBB2）で履修申請を行うこと。
※履修申請にあたっては、申請漏れや変更がないように十分留意し、所定の期間内に手続を行なうこと。

法学主専攻　入学年度別　履修細則（別表）

2022年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																														
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目														計			合計
													共通科目						関連科目												
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
法学	—	—	ＢＢ２ 憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、民法総則、刑法総論から4単位以上 ＢＢ２の演習科目から6単位以上 修得すること	40～62	—	—	法学概論 民事法概論	4	社会学基礎論 現代社会論 政治学概論 国際政治史 経済学基礎論 現代経済史	6～12	—	—	総合科目（ファーストイヤーセミナー、学問への誘い）	2	総合科目（学士基盤科目）	1～3	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	—	—	20	106	0	126
									社会学の最前線 法学の最前線 政治学の最前線 経済学の最前線	2～4			体育	2	体育	0～2					Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９（ＡＢ００、ＡＢ６０、ＢＣ１１は除く）	10～20						
													第１外国語	4	外国語	0～6												
													第２外国語	4	国語	0～2					Ｅ、Ｆ、Ｇ	2～10						
													情報	4	芸術	0～2												
			ＢＢ１ ＢＢ３ ＢＢ４ （専門基礎科目として指定されている科目を除く）	21～42					社会学の最前線チュートリアル 法学の最前線チュートリアル 政治学の最前線チュートリアル 経済学の最前線チュートリアル	0～4												ＢＡ（専門基礎科目として指定されている科目を除く） ＢＥ	0～12						
			ＡＢ００ ＡＢ６０ ＢＣ１１	0～10																								
	単位合計	0		61～84		0		4		8～20		0		16		1～15		0		0		12～36		0	20	106	0	126

2020・21年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																														
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目														計			合計
													共通科目						関連科目												
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
法学	—	—	ＢＢ２ 憲法Ⅰ、憲法Ⅱ、民法総則、刑法総論から4単位以上 ＢＢ２の演習科目から6単位以上 修得すること	40～62	—	—	法学概論 民事法概論	4	社会学基礎論 現代社会論 政治学概論 国際政治史 経済学基礎論 現代経済史	6～12	—	—	総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）	2	総合科目（**学士基盤科目**）	1～3	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	—	—	20	106	0	126
									社会学の最前線 法学の最前線 政治学の最前線 経済学の最前線	2～4			体育	2	体育	0～2					Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９（ＡＢ００、ＡＢ６０、ＢＣ１１は除く）	10～20						
													第１外国語	4	外国語	0～6												
													第２外国語	4	国語	0～2					Ｅ、Ｆ、Ｇ	2～10						
													情報	4	芸術	0～2												
			ＢＢ１ ＢＢ３ ＢＢ４ （専門基礎科目として指定されている科目を除く）	21～42																	ＢＡ ＢＥ	0～12						
			ＡＢ００ ＡＢ６０ ＢＣ１１	0～10																								
	単位合計	0		61～84		0		4		8～16		0		16		1～15		0		0		12～36		0	20	106	0	126

2019年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																												
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目										
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
法学	－	－	ＢＢ２ 憲法I、憲法II、民法総則、刑法総論から4単位以上 ＢＢ２の演習科目から6単位以上 修得すること	40～62	－	－	法学概論 民事法概論	4	社会学基礎論 現代社会論 政治学概論 国際政治史 経済学基礎論 現代経済史	6～12	－	－	総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）	2	総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘いを除く）	1～3	－	－	－	－	教職に関する科目	0～8	－	－	20	106	0	126
			ＢＢ１ ＢＢ３ ＢＢ４ （専門基礎科目として指定されている科目を除く）	20～42					社会学の最前線 法学の最前線 政治学の最前線 経済学の最前線	3～4			体育	2	体育	0～2					Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９（ＡＢ００、ＡＢ６０、ＢＣ１１は除く）	10～20						
			ＡＢ００ ＡＢ６０ ＢＣ１１	0～10									第１外国語	4	外国語	0～6					Ｅ、Ｆ、Ｇ	2～10						
													第２外国語	4	国語	0～2					ＢＡ ＢＥ	0～12						
													情報	4	芸術	0～2												
	単位合計	0		60～84		0		4		9～16		0		16		1～15		0		0		12～36		0	20	106	0	126

2018年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																												
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目										
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
法学	－	－	憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 民法総則 刑法総論	4～6	ＢＢ2	0～19	法学概論 民事法概論	2 2	社会学基礎論 現代社会論 政治学 政治思想 政治外交史 経済学基礎論 現代経済史	6	社会学基礎論 現代社会論 政治学 政治思想 政治外交史 経済学基礎論 現代経済史	0～19	総合科目Ⅰ（フレッシュマン・セミナー を含む）	2	－	－	体育	0～2	－	－	－	－	教職に関する科目	0～8	25	82	19	126
			ＢＢ2の演習の授業科目	4					ＢＢ1 ＢＢ3 ＢＢ4 ＡＢ00 ＡＢ60 ＡＢ70 ＡＢ74 ＢＣ 会計学概論 数理解析 経営工学概論 ＢＥ（別途指定する科目を除く）	22	ＢＡ ＢＢ1 ＢＢ3 ＢＢ4 ＡＢ00 ＡＢ60 ＡＢ70 ＡＢ74 ＢＣ 会計学概論 数理解析 経営工学概論 ＢＥ（別途指定する科目を除く）		総合科目Ⅱ＊注6	5			英語（選択・自由科目）	0～1.5					Ａ ＢＥ Ｃ Ｅ Ｆ Ｇ Ｈ Ｗ Ｙ ８ ９９	0～19				
			法律外書講読（英語）	1									総合科目Ⅲ	1			専門英語基礎演習	0～1										
			ＢＢ2	43～45									体育	2			英語以外の外国語	0～4.5										
													第1外国語	4.5			情報（上級）	0～5										
													第2外国語	4.5			国語	0～2										
													情報	2			芸術	0～2										
																	総合科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（フレッシュマン・セミナー を除く）	0～2										
	単位合計	0		54		0～19		4		28		0～19		21		0		0～19		0		0		0～19	25	82	19	126

2017年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																													
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目											
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
法学	—	—	憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 民法総則 刑法Ⅰ	4～6	ＢＢ2	0～19	法学概論	2	社会学基礎論	6	社会学基礎論	0～19	総合科目Ⅰ（フレッシュマン・セミナーを含む）	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	25	82	19	126
							民事法概論	2	現代社会論		現代社会論						英語（選択・自由科目）	0～1.5					ＡＢＥＣＥＦＧＨＷＹ８９	0～19				
									政治学		政治学		総合科目Ⅱ*注6	5														
									政治思想		政治思想						専門英語基礎演習	0～1										
									政治外交史		政治外交史																	
									経済学基礎論		経済学基礎論																	
			ＢＢ2の演習の授業科目	4					現代経済史		現代経済史		総合科目Ⅲ	1			英語以外の外国語	0～4.5										
									ＢＢ1	22	ＢＡ		体育	2														
									ＢＢ3		ＢＢ1		第1外国語	4.5			情報（上級）	0～5										
			法律外書講読（英語）	1					ＢＢ4		ＢＢ3		第2外国語	4.5														
									ＡＢ00		ＢＢ4		情報	2			国語	0～2										
			ＢＢ2	43～45					ＡＢ60		ＡＢ00						芸術	0～2										
									ＡＢ70		ＡＢ60						総合科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（フレッシュマン・セミナーを除く）	0～2										
									ＡＢ74		ＡＢ70																	
									ＢＣ		ＡＢ74																	
									会計学概論		ＢＣ																	
									数理解析		会計学概論																	
									経営工学概論		数理解析																	
									ＢＥ（別途指定する科目を除く）		経営工学概論																	
											ＢＥ（別途指定する科目を除く）																	
	単位合計	0		54		0～19		4		28		0～19		21		0		0～19		0		0		0～19	25	82	19	126

法学主専攻　履修ガイド

法学主専攻に関するカリキュラムは、法学の学修成果を身に付けるため、この図のような年次での履修を念頭に配置されている。

（この図に掲載された科目とその年度に開講される科目が一致しない場合もあるので、開設授業科目一覧、Kdb（筑波大学 教育課程編成システム）によるオンライン版『開設授業科目一覧』、Web掲示板、紙媒体による掲示、TWINS等の情報に注意して欲しい。）

法学主専攻の専門科目には、基本的な理論を扱う授業、社会に出て役立つ実践的な内容を取り上げる授業、法的視点からのコミュニケーション力を高める授業等の、多彩な科目が用意されている。

これらを総合的に考慮し、1年次から4年次に至るまで、法的な知識・理解度・意識・関心の高まりに合せて、効率的かつ必要な履修ができるよう工夫された配置となっている。
ただ、中には隔年開講や集中講義等の科目もあり、同じ学期曜時限に開講される科目もあるので、単年度では履修できない場合、複数年度でうまくやりくりする等の工夫をして欲しい。

平成27年度からの新設科目である「卒業論文」は、卒業のための必修科目ではないが、あるテーマについてより深く学びたい、法学主専攻における自らの修学の集大成を形にしたいといった学生に対して開かれた科目である。履修のための条件、履修申請の仕方等、他の科目と異なるところがあるので、掲示（Web掲示板や紙媒体）には十分に注意して欲しい。

政治学主専攻

政治学主専攻について

1．授業科目の履修は、主専攻分野の決定に必要な条件および卒業に必要な条件を念頭に置きながら、各自の関心に沿って自主的かつ計画的に行うことが必要である。特に、１・２年次において志望する主専攻分野を内定していない学生は、各主専攻の条件を考慮して、独自に履修計画を立てなければならない。

２．主専攻分野の決定に必要な条件（履修科目及び単位数）は、次のとおり。

主専攻分野の決定に必要な条件（平成31年度以降入学者の場合）
単位数の総計が30単位に達していること。【専門科目及び専門基礎科目（政治学概論及び国際政治史を含む。）の12単位を含む。】

３．卒業に必要な条件（履修科目及び単位数）はこの冊子に掲載されている「履修細則（別表）」および入学時に配布された「履修要覧」を参照すること。なお、卒業に必要な条件は入学年度によって異なるので注意すること。

４．同一の学期・曜日・時限に開設される科目を２科目以上履修することはできないので、履修申請の際には留意すること。

※ 履修申請の際には、申請漏れや変更がないように十分留意し、所定の期間内に手続をすること。
※ 社会学類開設の授業科目のなかで、他学類開設の授業科目と共通の授業科目（開設授業科目一覧の備考欄に表示）は、必ず、社会学類の授業科目番号（例えばＢＢ３）で履修申請を行うこと。

＊<u>ＢＥ科目履修上の注意（平成30年度以前入学者のみ）</u>

① ＢＥ科目のうち専門科目の選択・自由科目として履修できる科目
該当する科目なし。

② ＢＥ科目のうち専門基礎科目の選択・自由科目として履修できる科目
ＢＥ１１，ＢＥ２１，ＢＥ２２から始まる科目。

※変更がある場合には掲示するので、掲示板に注意すること。

平成30年度以前入学者が「政治学概論」の単位を取得した場合には「政治学」の単位として、「国際政治史」の単位を取得した場合には「政治外交史」の単位として扱う。

政治学主専攻　入学年度別　履修細則（別表）

2022・2023年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																														
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
政治学	－	－	ＢＢ３２	6～12	－	－	政治学概論	4	社会学基礎論	6～12	－	－	総合科目（ファーストイヤーセミナー、学問への誘い）	2	総合科目（学士基盤科目）	1～3	－	－	－	－	教職に関する科目	0～8	－	－	20	106	0	126
							国際政治史		現代社会論																			
									法学概論				体育	2	体育	0～2					Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９	10～20						
			ＢＢ３１	24～42					民事法概論				第１外国語	4	外国語	0～6												
									経済学基礎論				第２外国語	4	国語	0～2												
									現代経済史				情報	4	芸術	0～2												
			ＢＢ１	31～54					社会学の最前線	2～4											Ｅ、Ｆ、Ｇ	2～10						
			ＢＢ２						法学の最前線												ＢＡ（専門基礎科目として指定されている科目を除く）	0～12						
			ＢＢ４						政治学の最前線												ＢＥ							
									経済学の最前線																			
			（専門基礎科目として指定されている科目を除く）						社会学の最前線チュートリアル	0～4																		
									法学の最前線チュートリアル																			
									政治学の最前線チュートリアル																			
									経済学の最前線チュートリアル																			
単位合計		0		61～84		0		4		8～20		0		16		1～15		0		0		12～36		0	20	106	0	126

2020・2021年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																														
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
政治学	－	－	ＢＢ３２	6～12	－	－	政治学概論	4	社会学基礎論	6～12	－	－	総合科目（ﾌｧｰｽﾄｲﾔｰｾﾐﾅｰ、学問への誘い）	2	総合科目（学士基盤科目）	1～3	－	－	－	－	教職に関する科目	0～8	－	－	20	106	0	126
							国際政治史		現代社会論																			
									法学概論				体育	2	体育	0～2					Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９	10～20						
			ＢＢ３１	24～42					民事法概論				第１外国語	4	外国語	0～6												
									経済学基礎論				第２外国語	4	国語	0～2					Ｅ、Ｆ、Ｇ	2～10						
									現代経済史				情報	4	芸術	0～2												
			ＢＢ１	31～54					社会学の最前線	2～4											ＢＡ	0～12						
			ＢＢ２						法学の最前線												ＢＥ							
			ＢＢ４						政治学の最前線																			
									経済学の最前線																			
			（専門基礎科目として指定されている科目を除く）																									
単位合計		0		61～84		0		4		8～16		0		16		1～15		0		0		12～36		0	20	106	0	126

2019年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																													
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
政治学	—	—	ＢＢ３２	6～12	—	—	政治学概論 国際政治史	4	社会学基礎論 現代社会論 法学概論 民事法概論 経済学基礎論 現代経済史	6～12	—	—	総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）	2	総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘いを除く）	1～3	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	—	—	20	106	0	126
			ＢＢ３１	24～42									体育	2	体育	0～2					Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９	10～20						
			ＢＢ１ ＢＢ２ ＢＢ４ （専門基礎科目として指定されている科目を除く）	30～54					社会学の最前線 法学の最前線 政治学の最前線 経済学の最前線	3～4			第１外国語	4	外国語	0～6					Ｅ、Ｆ、Ｇ	2～10						
													第２外国語	4	国語	0～2					ＢＡ ＢＥ	0～12						
													情報	4	芸術	0～2												
単位合計		0		60～84		0		4		9～16		0		16		1～15		0		0		12～36		0	20	106	0	126

2018年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																													
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
政治学	—	—	ＢＢ3の演習の授業科目（政治学入門演習を除く。）	6	ＢＢ３ ＢＥのうち別途指定する科目	0～19	政治学 政治外交史	2 2	社会学基礎論 現代社会論 法学概論 民事法概論 政治思想 経済学基礎論 現代経済史	6	社会学基礎論 現代社会論 法学概論 民事法概論 政治思想 経済学基礎論 現代経済史	0～19	総合科目Ⅰ（フレッシュマン・セミナーを含む）	2	—	—	体育	0～2	—	—	—	—	教職に関する科目	0～8	25	82	19	126
			政治学外書講読（英語）	1～2									総合科目Ⅱ*注6	5			英語（選択・自由科目）	0～1.5					ＡＢＥＣＥＦＧＨＷＹ８９９	0～12						
			ＢＢ３ ＢＥのうち別途指定する科目	42～43					ＢＢ１ ＢＢ２ ＢＢ４ ＢＣ ＡＢ60 ＡＢ70 ＡＢ80 ＡＣ62 ＡＣ643 ＡＣ644 ミクロ経済学（社工） マクロ経済学（社工） ＢＥのうち別途指定する科目	26	ＢＡ ＢＢ１ ＢＢ２ ＢＢ４ ＢＣ ＡＢ60 ＡＢ70 ＡＢ80 ＡＣ62 ＡＣ643 ＡＣ644 ミクロ経済学（社工） マクロ経済学（社工） ＢＥのうち別途指定する科目		総合科目Ⅲ	1			専門英語基礎演習	0～1												
													体育	2			英語以外の外国語	0～4.5										
													第1外国語	4.5			情報（上級）	0～5										
													第2外国語	4.5			国語	0～2										
													情報	2			芸術	0～2										
																	総合科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（フレッシュマン・セミナーを除く）	0～1										
単位合計		0		50		0～19		4		32		0～19		21		0		0～19		0		0		0～12	25	82	19	126

2016･2017年度入学者

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																												
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目										
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
政治学	—	—	ＢＢ3の演習の授業科目（政治学入門演習を除く。） 政治学外書講読（英語） ＢＢ3 ＢＥのうち別途指定する科目	6 1～2 40～41	ＢＢ3 ＢＥのうち別途指定する科目	0～19	政治学 政治思想 政治外交史	2 2 2	社会学基礎論 現代社会論 法学概論 民事法概論 経済学基礎論 現代経済史 ＢＢ1 ＢＢ2 ＢＢ4 ＢＣ ＡＢ60 ＡＢ70 ＡＢ80 ＡＣ62 ＡＣ643 ＡＣ644 ミクロ経済学（社工） マクロ経済学（社工） ＢＥのうち別途指定する科目	6 26	社会学基礎論 現代社会論 法学概論 民事法概論 経済学基礎論 現代経済史 ＢＡ ＢＢ1 ＢＢ2 ＢＢ4 ＢＣ ＡＢ60 ＡＢ70 ＡＢ80 ＡＣ62 ＡＣ643 ＡＣ644 ミクロ経済学（社工） マクロ経済学（社工） ＢＥのうち別途指定する科目	0～19	総合科目Ⅰ（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝ・ｾﾐﾅｰを含む） 総合科目Ⅱ＊注6 総合科目Ⅲ 体育 第1外国語 第2外国語 情報	2 5 1 2 4.5 4.5 2	—	—	体育 英語（選択・自由科目） 専門英語基礎演習 英語以外の外国語 情報（上級） 国語 芸術 総合科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（ﾌﾚｯｼｭﾏﾝ・ｾﾐﾅｰを除く）	0～2 0～1.5 0～1 0～4.5 0～5 0～2 0～2 0～1	—	—	—	—	教職に関する科目 ＡＢＥＣＥＦＧＨＷＹ８９９	0～8 0～12	27	80	19	126
単位合計		0		48		0～19		6		32		0～19		21		0		0～19		0		0		0～12	27	80	19	126

政治学主専攻　履修ガイド

政治学主専攻のカリキュラムの構成は下図の通りである。

（註）この他にも、他学類等が開設主体の科目で政治学主専攻の専門科目として履修できるものがある。詳細は開設授業科目一覧を参照。

1. 講義科目は、政治学の理論、思想、歴史、行政学、国際政治などをバランスよく、かつ基礎から応用まで段階的に学修することができるように提供されている。原則として2単位・学期完結で実施する。
2. 政治学外書講読I・II（英語）は、政治学の英語文献を読みこなす能力を育成する授業であり、平成23～30年度入学者は1単位以上履修しなければならない。なお、科目名のIとIIは難易度・レベルを示すものではない。
3. 政治学入門演習は、政治学の基礎的な知識を学ぶとともに、専門演習の準備段階として文献講読やプレゼンテーションのトレーニングなどを行う。必修ではないが、政治学主専攻を志望する者は2年次 * に履修することが望ましい。
4. 各種の専門演習（比較政治学演習、国際政治学演習、現代政治外交演習など）は、より専門性を深め自己の研究テーマについて探究するための授業であり、3年次・4年次 * の2年間にわたって計6単位以上を履修しなければならない。3年次 * に「演習Ⅰ」、4年次 * に「演習Ⅱ」を受講すること。同一名称の「演習Ⅰ」と「演習Ⅱ」を、同一年度中に同時に履修することはできない。3年次と4年次 * のいずれで4単位を修得してもよいが、「演習Ⅰ」を受講せず、「演習Ⅱ」から初めて受講する場合には、あらかじめ当該演習の担当教員の許可を得なければならない。

* 秋学期入学者の場合、上の文中の「2年次」は1年次春～2年次秋、「3年次」は2年次春～3年次秋、「４年次」は3年次春～4年次秋と読み替えること。

経済学主専攻

経済学主専攻について

１（注意）．2022年度から「実証分析入門」が、２０２１年度までの「経済統計論」に該当する。履修細則の別表中の「経済統計論」を「実証分析入門」として履修計画を立てること。したがって、**専門選択科目として、【ミクロ経済学、マクロ経済学、経済数学、実証分析入門】のうちから4単位以上を修得しなければならない。**

２（注意）．2023年度入学者から、次ページ別表のように、**別途指定するBC（国際総合学類）、FH（社会工学類）の一部の科目を、専門科目－選択科目として認める。**ただし**2023年度入学者**から、これらの指定された科目は、基礎科目－関連科目－選択科目には該当しないので充分注意すること。

これら別途指定するBC、FH科目は、**掲示**によって指定する。2023年度入学者は、本件の掲示に充分注意すること。

３．履修は、各自が入学した年度に配布された『**履修要覧**』に従わなければならない。ただし、編入学生の履修は、自分が入学した学年が1年生だった時の『履修要覧』に従う。履修要覧の**「履修細則」**と**別表**に従い、各自の関心と志望する主専攻分野に沿って、履修計画を自主的に立案すること。

４．後の**履修ガイド**は、すでに志望する主専攻分野を内定している学生を念頭において作成されている。まだ志望する主専攻分野を内定していない学生は、各主専攻分野の決定に必要な履修科目及び履修単位数、卒業に必要な履修科目及び履修単位数を考慮して、独自に履修計画を立案することが必要である。主専攻分野の決定に必要な条件（履修科目及び単位数）は、次のとおり。

主専攻分野の決定に必要な条件
単位数の総計が３０単位に達していること。 【専門科目及び専門基礎科目（経済学基礎論，現代経済史の４単位を含む。）の１２単位を含む。】

５．　各**経済学演習**は春と秋に分けて開講されるが，**同一ローマ数字（Ⅱ、Ｘなどの表記）の科目を通年で履修**しなければならない。通年で履修しなくてもよい必要条件は、海外留学と休学の場合である。

６．卒業に必要な条件（履修科目及び単位数）は入学時に配布された「履修要覧」に従うこと。なお、同一の学期・曜日・時限に開設される科目を２科目以上履修することはできない。

７．**名称および科目番号が全く同一の科目は**重複して履修できない。
(ただし、例えば経済学演習Ⅶ-3と経済学演習Ⅶ－4は異なる科目である。)

８．履修申請の際には、申請漏れや変更がないように十分留意し、所定の期間内に手続をすること。卒業論文の履修者は各自の主たる指導教員から指示を受けたうえで本手引きにも記載のある年間スケジュールで定められた題目届を提出し、論文提出**時期を厳守**すること。

９．社会学類開設の授業科目のなかで、他学類開設の授業科目と共通の授業科目（開設授業科目一覧の備考欄に表示）は、必ず、社会学類の授業科目番号（例えばＢＢ4）で履修申請を行うこと。

経済学主専攻　入学年度別　履修細則（別表）

2023年度入学者

「経済統計論」は2022年度から
「実証分析入門」に該当する

主専攻分野	専門科目 必修科目	単位数	専門科目 選択科目	単位数	専門科目 自由科目	単位数	専門基礎科目 必修科目	単位数	専門基礎科目 選択科目	単位数	専門基礎科目 自由科目	単位数	基礎科目 共通科目 必修科目	単位数	基礎科目 共通科目 選択科目	単位数	基礎科目 共通科目 自由科目	単位数	基礎科目 関連科目 必修科目	単位数	基礎科目 関連科目 選択科目	単位数	基礎科目 関連科目 自由科目	単位数	計 必修科目	計 選択科目	計 自由科目	合計
経済学	−	−	ＢＢ4 (ただしミクロ経済学、マクロ経済学、経済統計論のうちから4単位以上、さらに経済学演習を8単位以上含めること) BC、FH （これらのうち別途指定する科目のみ）	32〜62			経済学基礎論 現代経済史	4	社会学基礎論 現代社会論 法学概論 民事法概論 政治学概論 国際政治史	6〜12			総合科目 （ファーストイヤーセミナー、学問への誘い）	2	総合科目 （学士基盤科目）	1〜3					教職に関する科目	0〜8			20	106	0	126
													体育	2	体育	0〜2					A、ＢＣ、Ｃ、H、W、Y、8、９９ （専門科目として指定されている科目を除く）	10〜20						
													第1外国語	4	外国語	0〜6					E、F、G （専門科目として指定されている科目を除く）	2〜10						
													第2外国語	4	国語	0〜2												
			ＢＢ1	29〜50									情報	4	芸術	0〜2					ＢＡ（専門基礎科目として指定されている科目を除く） ＢＥ	0〜12						
			ＢＢ2 ＢＢ3 （専門基礎科目として指定されている科目を除く）						社会学の最前線 法学の最前線 政治学の最前線 経済学の最前線	2〜4																		
									社会学の最前線チュートリアル 法学の最前線チュートリアル 政治学の最前線チュートリアル 経済学の最前線チュートリアル	0〜4																		
	単位合計	0		61〜84				4		8〜20				16		1〜15				0		12〜36			20	106	0	126

2023年度入学者から、ここに認められるBC, FH科目を別途指定する。そこで指定された科目は、基礎科目－関連科目－選択科目には認められない

「経済統計論」は2022年度から
「実証分析入門」に該当する

2022年度入学者

主専攻分野	専門科目 必修科目	単位数	専門科目 選択科目	単位数	専門科目 自由科目	単位数	専門基礎科目 必修科目	単位数	専門基礎科目 選択科目	単位数	専門基礎科目 自由科目	単位数	基礎科目 共通科目 必修科目	単位数	基礎科目 共通科目 選択科目	単位数	基礎科目 共通科目 自由科目	単位数	基礎科目 関連科目 必修科目	単位数	基礎科目 関連科目 選択科目	単位数	基礎科目 関連科目 自由科目	単位数	計 必修科目	計 選択科目	計 自由科目	合計
経済学	−	−	ＢＢ4 (ただしミクロ経済学、マクロ経済学、経済統計論のうちから4単位以上、さらに経済学演習を8単位以上含めること)	32〜62			経済学基礎論 現代経済史	4	社会学基礎論 現代社会論 法学概論 民事法概論	6〜12			総合科目 （ファーストイヤーセミナー、学問への誘い）	2	総合科目 （学士基盤科目）	1〜3					教職に関する科目	0〜8			20	106	0	126
									政治学概論				体育	2	体育	0〜2					A、ＢＣ、Ｃ、H、W、Y、8、９９	10〜20						
									国際政治史				第1外国語	4	外国語	0〜6					E、F、G	2〜10						
									政治学概論				第2外国語	4	国語	0〜2												
			ＢＢ1	29〜50					国際政治史				情報	4	芸術	0〜2					ＢＡ（専門基礎科目として指定されている科目を除く） ＢＥ	0〜12						
			ＢＢ2 ＢＢ3 （専門基礎科目として指定されている科目を除く）						社会学の最前線 法学の最前線 政治学の最前線 経済学の最前線	2〜4																		
									社会学の最前線チュートリアル 法学の最前線チュートリアル 政治学の最前線チュートリアル 経済学の最前線チュートリアル	0〜4																		
	単位合計	0		61〜84				4		8〜20				16		1〜15				0		12〜36			20	106	0	126

(注)

経済学主専攻　入学年度別　履修細則（別表）

2021年度入学者

「経済統計論」は2022年度から
「実証分析入門」に該当する

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
経済学	−	−	ＢＢ４ (ただしミクロ経済学、マクロ経済学、経済統計論のうちから4単位以上、さらに経済学演習を8単位以上含めること)	32〜62			経済学基礎論 現代経済史	4	社会学基礎論	6〜12			総合科目 （フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）	2	総合科目 （学士基盤科目）	1〜3					教職に関する科目	0〜8			20	106	0	126
									現代社会論																			
									法学概論																			
									民事法概論												Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９	10〜20						
									政治学概論				体育	2	体育	0〜2												
									国際政治史				第1外国語	4	外国語	0〜6												
									政治学概論				第2外国語	4	国語	0〜2					Ｅ、Ｆ、Ｇ	2〜10						
			ＢＢ１	29〜50					国際政治史				情報	4	芸術	0〜2					ＢＡ	0〜12						
			ＢＢ２						社会学の最前線	2〜4											ＢＥ							
			ＢＢ３						法学の最前線																			
			（専門基礎科目として指定されている科目を除く）						政治学の最前線																			
									経済学の最前線																			
	単位合計	0		61〜84				4		8〜16				16		1〜15				0		12〜36			20	106	0	126

2020年度入学者

「経済統計論」は2022年度から
「実証分析入門」に該当する

主専攻分野	卒業に必要な履修科目及び修得単位数																											
	専門科目						専門基礎科目						基礎科目												計			合計
													共通科目						関連科目									
	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	必修科目	選択科目	自由科目	
経済学	−	−	BB4 (ただしミクロ経済学、マクロ経済学、経済数学、経済統計論のうちから4単位以上、さらに経済学演習を8単位以上含めること)	32〜62			経済学基礎論 現代経済史	4	社会学基礎論	6〜12			総合科目 （フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）	2	総合科目 （学士基盤科目）	1〜3					教職に関する科目	0〜8			20	106	0	126
									現代社会論																			
									法学概論																			
									民事法概論												A、BC、C、H、W、Y、8、99	10〜20						
									政治学概論				体育	2	体育	0〜2												
									国際政治史				第1外国語	4	外国語	0〜6												
									政治学概論				第2外国語	4	国語	0〜2					E、F、G	2〜10						
			BB1	29〜50					国際政治史				情報	4	芸術	0〜2					BA	0〜12						
			BB2						社会学の最前線	2〜4											BE							
			BB3						法学の最前線																			
			（専門基礎科目として指定されている科目を除く）						政治学の最前線																			
									経済学の最前線																			
	単位合計	0		61〜84				4		8〜16				16		1〜15				0		12〜36			20	106	0	126

「経済統計論」は2022年度から
「実証分析入門」に該当する

2019年度入学者

主専攻分野	専門科目 必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	専門基礎科目 必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	基礎科目 共通科目 必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	基礎科目 関連科目 必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	計 必修科目	選択科目	自由科目	合計
経済学	－	－	ＢＢ4（ただしミクロ経済学、マクロ経済学、経済数学、~~経済統計論~~のうちから4単位以上、さらに経済学演習を8単位以上含めること）	32～62			経済学基礎論 現代経済史	4	社会学基礎論 現代社会論 法学概論 民事法概論 政治学概論 国際政治史 政治学概論 国際政治史	6～12			総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘い）	2	総合科目（フレッシュマン・セミナー、学問への誘いを除く）	1～3					教職に関する科目	0～8			20	106	0	126
													体育	2	体育	0～2					Ａ、ＢＣ、Ｃ、Ｈ、Ｗ、Ｙ、８、９９	10～20						
													第1外国語	4	外国語	0～6					Ｅ、Ｆ、Ｇ	2～10						
													第2外国語	4	国語	0～2												
			ＢＢ1 ＢＢ2 ＢＢ3 （専門基礎科目として指定されている科目を除く）	28～50					社会学の最前線 法学の最前線 政治学の最前線 経済学の最前線	3～4			情報	4	芸術	0～2					ＢＡ ＢＥ	0～12						
	単位合計	0		60～84				4		9～16				16		1～15				0		12～36			20	106	0	126

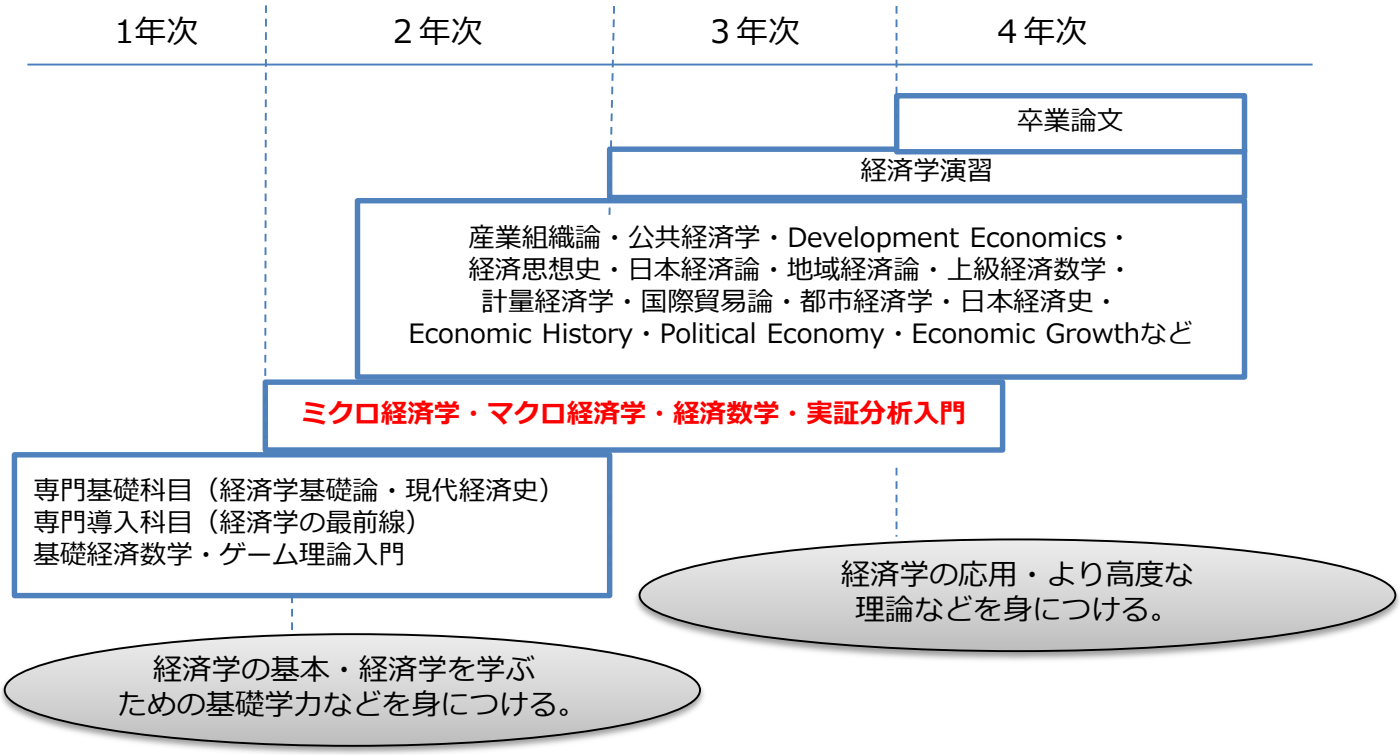
「経済統計論」は2022年度から
「実証分析入門」に該当する

2016・2017・2018年度入学者

主専攻分野	専門科目 必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	専門基礎科目 必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	基礎科目 共通科目 必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	基礎科目 関連科目 必修科目	単位数	選択科目	単位数	自由科目	単位数	計 必修科目	選択科目	自由科目	合計
経済学	－	－	ミクロ経済学 マクロ経済学 ~~経済統計論~~ 経済数学	4	外国語経済書講読	0～8	経済学基礎論	2	法学概論 民事法概論 政治学 政治思想 政治外交史□ 社会学基礎論 現代社会論	6	法学概論 民事法概論 政治学 政治思想 政治外交史□ 社会学基礎論 現代社会論	0～25	総合科目Ⅰ(フレッシュマン・セミナーを含む)	2	－	－	体育	0～2	－	－	－	－	教職に関する科目	0～8	25	71	30	126
			外国語経済書講読	4～8	ＢＢ4（ただし、外国語経済書講読、経済学演習は除く。）	0～25	現代経済史	2					総合科目Ⅱ *注6	5			英語（選択・自由科目）	0～1.5					ＡＡ ＢＣ ＢＥ Ｅ Ｆ Ｇ Ｈ Ｗ Ｙ ８ ９９	0～16				
			経済学演習	8～16									総合科目Ⅲ	1			専門英語基礎演習	0～1										
			ＢＢ4（ただし、外国語経済書講読、経済学演習は除く。） ＢＥのうち別途指定する科目	28～38	ＢＣ ＦＨ ＢＥのうち別途指定する科目	0～4			ＢＢ1 ＢＢ2 ＢＢ3 ＢＥのうち別途指定する科目	9	ＢＡ ＢＢ1 ＢＢ2 ＢＢ3 Ａ（ただし、ＡＡを除く。） Ｃ ＢＥのうち別途指定する科目		体育	2			英語以外の外国語	0～4.5										
													第1外国語	4.5			情報（上級）	0～5										
													第2外国語	4.5			国語	0～2										
													情報	2			芸術	0～2										
																	総合科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（フレッシュマン・セミナーを除く）	0～1										
	単位合計	0		56		0～25		4		15		0～25		21		0		0～19		0		0		0～16	25	71	30	126

経済学主専攻　履修ガイド

履修の仕方としておすすめできるモデルケースを紹介します。



経済学の論理的思考法に基づいて、経済・社会問題を考察し、その処方箋を考える事ができる力を身につけることを到達目標とする。

経済学は体系的な学問である。その体系を正確かつ深く学んでいくために、順次、段階的に学んでいく。そのため、まず専門基礎科目群（経済学基礎論・現代経済史など）を履修し、経済学の基礎的な考え方を学ぶ。さらに専門導入科目（経済学の最前線）を履修すると先端的な研究の一端を垣間見ることもできる。

数学や外国語の学力も、専門基礎科目群（経済学基礎論・現代経済史）に続く専門的な科目を理解するためには必要である。そこで基礎経済数学、実証分析入門などを履修し、基礎知識を養成する。上級生（3年次以上）になると、経済学演習（通称、ゼミナール）が始まる。それぞれの演習で扱われる専門的な内容を理解していくためには、高度な学力だけでなく、教員を交えて少人数で主体的に学ぶ姿勢が要求される。

経済学には様々な専門分野や応用分野がある。これらを２・３年次以降の講義科目（演習ではなく）として履修していく。それらには、専門基礎科目よりも高度なミクロ経済学、マクロ経済学などの理論的な知識を基礎にした分野も多くある。したがって、これらを2年次以降にしっかり履修し、順次、専門科目を履修していくことによって専門分野の学習効果が高まる。

3年次以上が履修できる経済学演習（ゼミナール）では、１・２年次に培った基礎知識や学力、理論的な思考力をベースとして、より高度で専門的な経済学の専門分野について、教員を交えた少人数で学生が主体的に学んでいく。１・２年次の共通の知識の土台の上に、学生それぞれが自身の興味にそった専門分野を選択し、積極的に参加して知識を深めていくことが求められる。

必修科目ではないが、大学における各自の学習の集大成として、4年次には卒業論文の指導も受けることができる。卒業論文を履修する場合は、演習などの主たる指導教員のアドバイスを受けること。（筑波大学　社会・国際学群　学群スタンダードをもとに作成）